深谷市立川本北小学校　特別の教育課程（小学校）編成方針

１　特別の教育課程の内容

（１）概要

　　小学校１年生から英語活動を導入し、英語に触れさせ、慣れ親しませ、人との豊かなコミュニケーション能力の素地を養う。

　　特別の教育課程を編成し、外国語指導助手ALTを活用しながらコミュニケーションを基盤にした英語活動を実施することで、児童の英語に対する興味・関心を高め、国際教育を推進していく。

（２）教科、時数等

　　小学校第１、第２学年において「英語活動」を行う。

　・第１学年は生活科を３４時間削減し、３４時間の「英語活動」を行う。

　　・第２学年は生活科を３５時間削減し、３５時間の「英語活動」を行う。

２　特別の教育課程の編成

小学１学年・第２学年で「英語活動」の時間を週時程表に位置づけ実施をする。小学校第１学年で生活科３４時間・第２学年で生活科３５時間を英語活動（主に学級担任と外国語指導助手ALTとのティームティーチング）の時間に充てる。小・中一貫した英語教育を一層推進させる。

３　学校又は地域の特色を生かした特別の教育課程を編成して教育を実施する必要性

社会や経済のグローバル化が急速に進み、情報技術を著しい発展を遂げている今日、コミュニケーションとしての英語の重要性が増し、英語を国際語として使いこなせる人材の育成が求められている。深谷市では、早期から英語に触れさせることを通して、豊かなコミュニケーション能力の育成を目指している。今後グローバル社会に対応できる人材の育成に向け、小学校第１学年・第２学年で英語活動を実施し、小学校、中学校９年間の切れ目のない外国語教育の充実・推進を図っていく。

４　令和７年度深谷市立川本北小学校の方向性

　市の方針を受け、本校においては児童の言語活動を中心とした授業づくりの工夫に重点的に取り組む。英語を用いて相手のことを理解したり、自分のことを伝えようとしたりする活動を通して、本校学校教育目標「やさしく　かしこく　たくましく」の実現を目指していく。